



2017年6月16日

内閣府と同時発表

日本政府推進！子どもの貧困対策の国民運動 「子供の未来応援基金」へ募金を贈呈

～全 172 店舗の会計レジで募金を実施～

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：三枝 富博、以下「当社」）は、2017年3月1日（水）から3ヶ月間、内閣府等による、いわゆる貧困の連鎖の解消を目指して推進している「子供の未来応援国民運動」（推進事務局を内閣府、文科省、厚労省及び日本財団で構成）と連携し、国民運動の一環として設置された「子供の未来応援基金」に募金金額の全額を寄付する目的で募金活動を実施いたしました。

この店頭募金活動に対し、お客様、従業員から寄せられた募金は**4,010,321円**となり、6月15日（木）に、加藤勝信内閣府特命担当大臣宛にお届けいたしました。



【全店のレジで募金を受付】



【代行の西崎政策統括官(共生社会政策担当)(写真右)へ目録を贈呈】

当社では、2016年3月1日（火）より、国内のGMS（総合スーパー）として初めて、全国のイトーヨーカドー、セブン美のガーデン、ザ・プライス、全店の会計レジに募金箱を通年設置し、年間を通じてお客様、従業員へ募金を呼びかける活動を行っております（セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く）。この募金は3か月単位で様々な社会的課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

なお、この会計レジの募金は、2017年6月1日（木）～8月31日（木）の期間、「盲導犬育成のための募金」として実施しております。寄せられた募金は「全国盲導犬施設連合会」へ全額寄付いたします。

以上